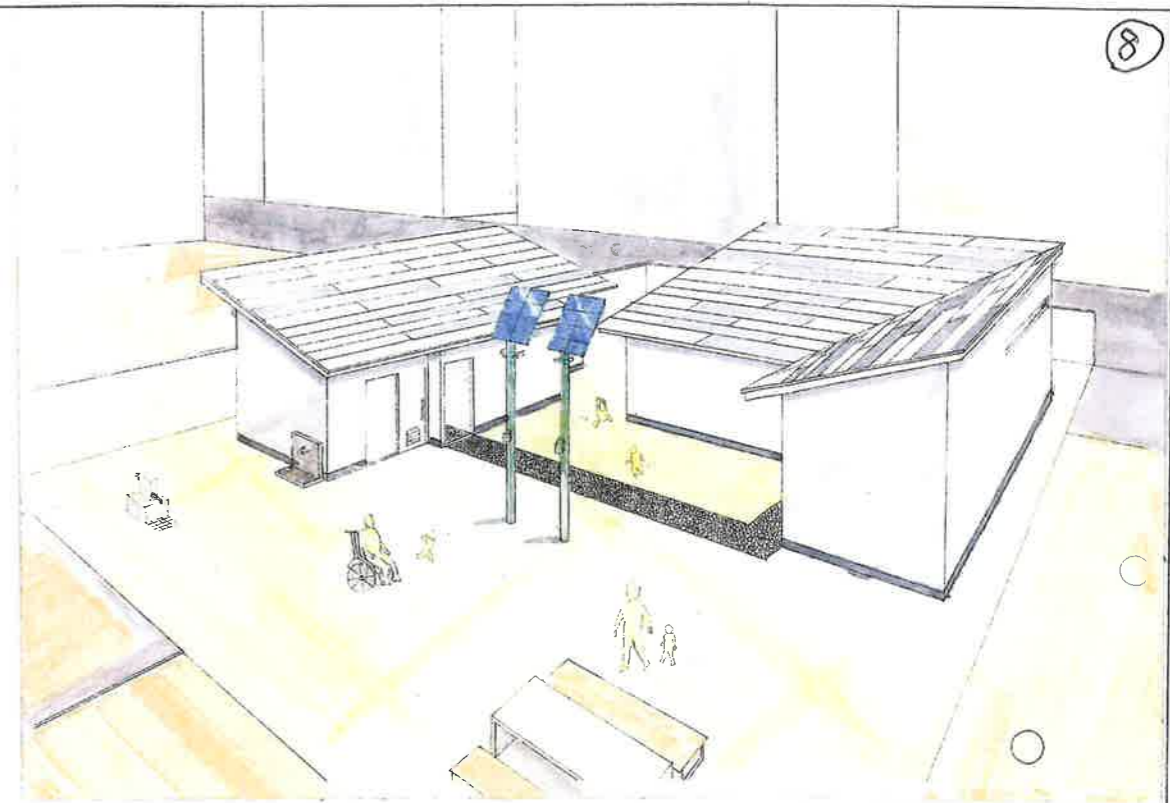
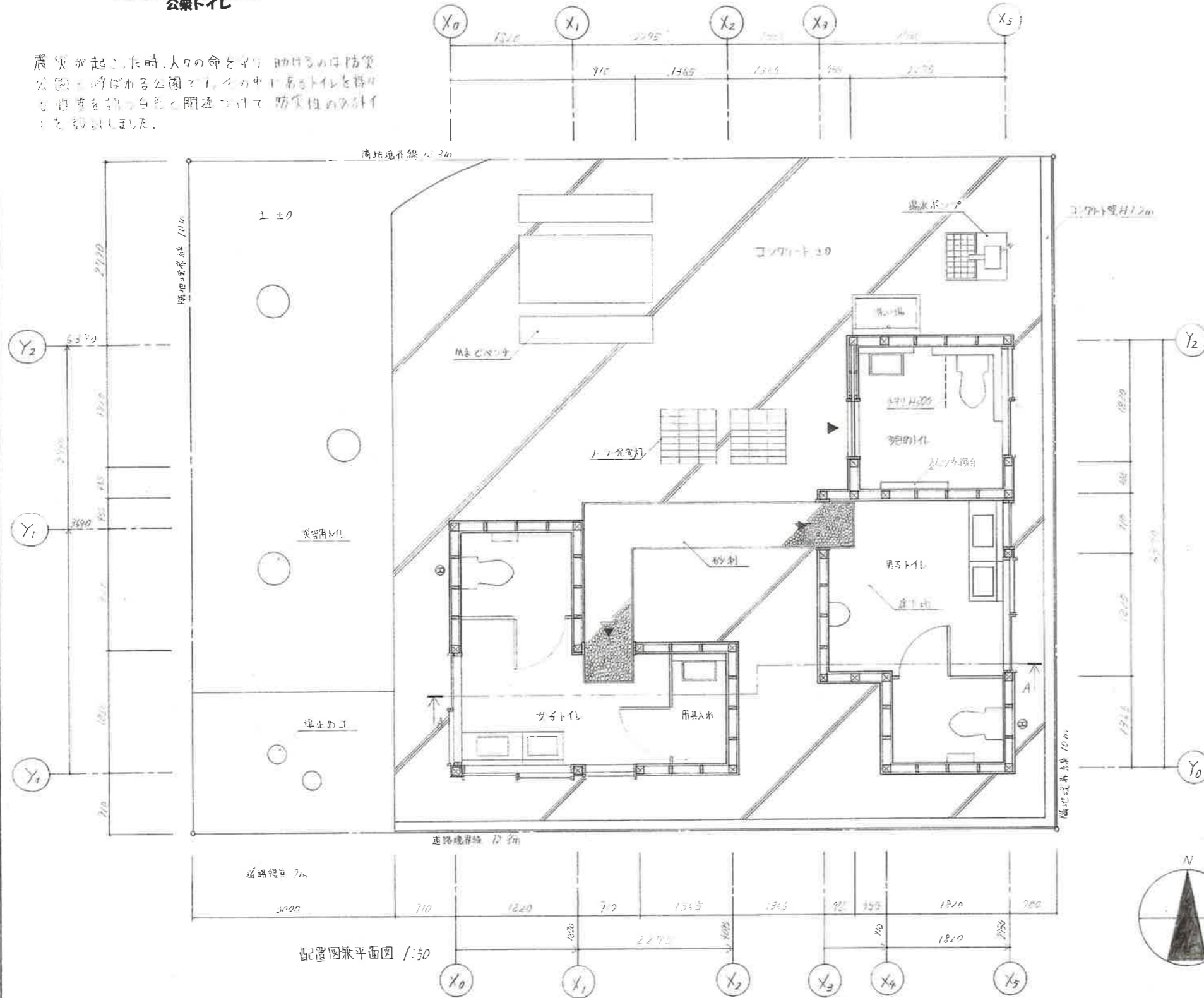


第6回建築デザインアワード
永田第1児童公園に建設する
公衆トイレ

震災が起こった時、人々の命を助け、助けるのは防災公園。時は来る公園で、その中に公衆トイレを構える。地震を許さずと関連付けて、防災性の設計を設計しました。



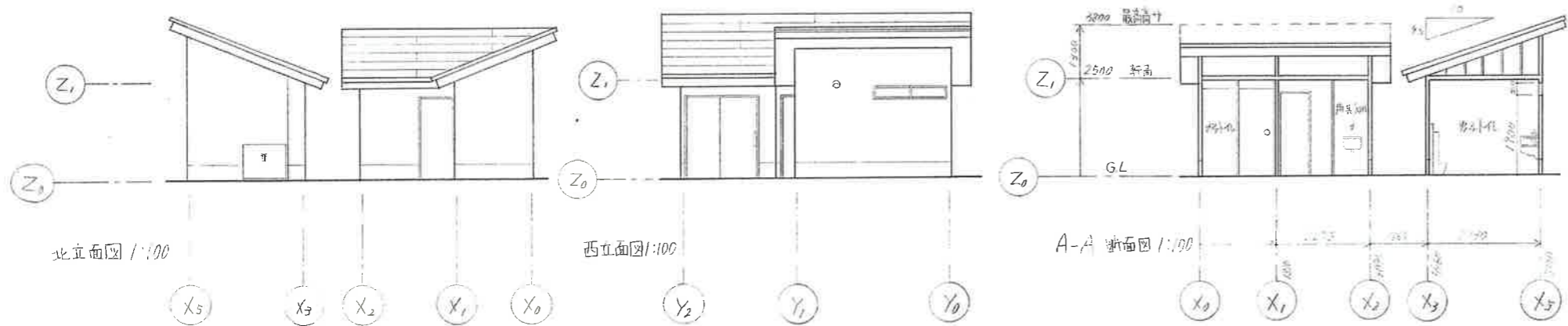
外観パース

- 白色の性質 ——
- ・ 清潔感を与え、トイレを活しにくくする。
 - ・ 高い反射性を生か、ソフワで目立ちず、
 - ・ 始まりを表す色、物事をリセットして新たにやり直す再出発の色。災害で心が折れた人達にやり直す勇気を与える。



内観パース

面積種類	計算式 (単位 m)	計
敷地面積	12.8 × 10	128.00 m ²
建築面積	10.7653 + 9.9372 + 5.175625	25.87 m ²
延べ面積	10.7653 + 9.9372 + 5.175625	25.87 m ²
建ぺい率	25.9 ÷ 128 × 100	20.23%
容積率	25.9 ÷ 128 × 100	20.23%



コンセプト
このトイレの周りには白い砂利を敷き詰め、単純な平面の形をつけただけでなく、砂利の上を歩くことで人がトイレに入ってくるのを音で分かるようにしました。防災設備では左右のトイレの間にソーラー発電灯を設けました。発電灯に向かって屋根をかぶり、高い反射性の高い白色の屋根は上に光を反射します。そうすることで震災時や停電が起きた時、混乱する住民に対してここが安全を守る場所だとサインを送ることができ、またより機能性を高めるために、かまどベンチ、揚水ポンプ、災害用トイレを設置し、災害が起きたとしても、最低限の生活ができる設備としました。